

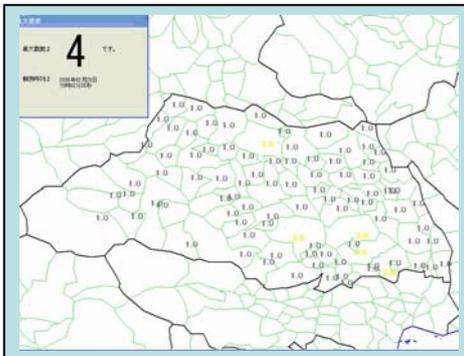


緊急地震速報を弊社工場で受信した様子を放映し、緊急地震速報活用と事業継続計画による地震災害軽減をアピールした

日本能率協会「産業安全対策シンポジウム」で緊急地震速報セミナーが開催される

3月2日、東京都港区三田NNホールで行われた「第29回2007産業安全対策シンポジウム」((財)日本プラントメンテナンス協会及び(財)日本能率協会 共催)で、セッションテーマ「自然災害への対応と事業継続計画」において 当社講師による「緊急地震速報の活用事例」セミナーを実施しました。同セッションでは東京ガス(株)や(株)ディスコの事業継続計画と地震災害の取り組みが発表されました。明星電気は緊急地震速報が発信された時の実際の動画(中越地震)や早期警報型計測震度計との組合せ方法などを、生産現場での具体的な事例を踏まえて解説。産業安全対策に役立つ、地震災害軽減ツールの活用セミナーとなり好評をいただきました。

会場にはトップ企業の生産・安全管理ご担当の方が多数ご参加いただき、「何秒前に知らせられるのか?」「直下地震での効果は?」など、具体的に切実な質問があり、活発な質疑応答が行われました。



埼玉県震度ネットIP化の画像

埼玉県震度情報ネットワーク、IP化を実施!

明星電気は平成17年度と18年度にかけて、埼玉県震度情報ネットワークシステムの改修業務を請け負いました。震度情報収集を行う県庁側サーバと各市町村役場に設置された計測震度計との間をIP化し、18年度分の14カ所が3月末までに完工します。

これまで地震発生から震度情報を気象庁など関係機関へ送信する場合、県庁側震度情報収集サーバと各市町村役場との通信手段がモデム通信に限られていたため、震度情報収集に時間がかかることがありました。IP化することにより常時接続が可能になり送信時間が短縮され、迅速な震度情報収集が行われることによって、早期の初動体制確立などの地震防災への効果が期待されます。

今後は通信手段の高度化に対応するため、各都道府県が設置する震度情報ネットワークシステムも、IP化や通信経路の二重化などの施策が

実施される見通しですが、明星電気もより多くの自治体でご活用いただける、計測震度計から通信ネットワークに至るトータルな地震防災ソリューションを提供し、社会全体の「安全・安心」へ貢献してまいります。



気象測定装置設置風景



高層気象観測用ゾンデと打ち上げイメージ図

防衛省に気象測定装置を納入!

明星電気は防衛省 旭川駐屯地 第2特科連隊に気象測定装置を納入いたしました。この気象測定装置は車載型の測定装置のため、移動局としての利用が可能です。2基の空中線により最大2個のゾンデを自動追尾し、高層気象の測定(風向風速、温度、湿度、気圧)を行います。ゾンデは、レンジングゾンデの採用により小型、高精度化を実現しました。また、地上観測装置のデータを自動的にゾンデ追跡処理装置へ伝送する事も可能です。気象測定装置は、自衛隊の訓練時などに利用され、安全保障や国際社会の平和と安全に貢献しています。

明星電気の活動を紹介します。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。

明星電気株式会社 www.meisei.co.jp

本店：東京都文京区小石川 2-5-7 佐佐木ビル 〒112-8511 TEL: 03-3814-5115 E-Mail: cs@meisei.co.jp